

伝わる文章をはじめよう

基礎からトラブルシューティングまで

mochikoAsTech 著

2019-04-14 版 **mochikoAsTech** 発行

はじめに

2018 年 10 月 mochikoAsTech

この本を手にとってくださったあなた、こんにちは、あるいははじめまして。「AWS をはじめよう」の筆者、mochikoAsTech です。

AWS は好きですか？ それとも好きとか嫌いとか言えるほど、AWS のことをまだよく知らない段階ですか？

本著「AWS をはじめよう」では AWS でサーバを立てたり、そこに WordPress をインストールしたりして、実際にブラウザで自分のサイトが見られるところまで手を動かして実践していきます。

ちなみに本著「AWS をはじめよう」（以下 AWS 本）は、前作「DNS をはじめよう」（以下 DNS 本）のストーリーの続きとなっていますので、DNS 本を読まずにいきなり AWS 本から読むと「上中下巻セットなのに中巻からいきなり読んだ」という感じで色々意味が分からずちょっと戸惑うことになります。

読み進んでいくと第 2 章辺りで「さてここで事前に下茹でしておいたじゃがいもを取り出します」といわれて「は？ 下茹でとかいつしてたの?!」という状態になりますので、「DNS は興味ないし面倒くさいんだけど・・・」という方もできれば DNS 本をお読みいただいて、下ごしらえを済ませた状態で AWS 本を開いてみてください。きっとその方が美味しくお召し上がりいただけます。第 1 章は DNS 本を読んでいなくても問題ない内容ですので、とりあえずそのまま読んでいただいても構いません。

AWS の普及によって「アプリケーションエンジニアは開発だけやればいい、サーバ周りはインフラエンジニアに任せておけばいい」という完全分業の時代が終わり、今まで聖域化されていたインフラやサーバの世界に、アプリケーションエンジニアやフロントエンドエンジニアも気軽に踏み込めるようになってきました。嫌でも踏み込まざるを得ない時代になってきた、ともいえます。

ですがソースコードを書くアプリケーションエンジニアと違って、インフラエンジニアが実際どんなことをしているのかなんて想像もつかない、「サーバを立てろ」といわれても何をどうしたらいいのかわからない、という人も少なくないのではないのでしょうか。

でもインフラってやってみると意外と楽しいんです。そして土台であるインフラを学ぶことで、上もののアプリで頑張っていたことがあっさり解決できる、という場面も結構あったりします。

本著は「AWS やサーバやインフラは怖いものではなくすごく楽しいものなんだよ」ということを、かつての私のような初心者へ伝えたくて書いた一冊です。読んで試して「面白かった!」と思ってもらえたら、そしてインフラを前より少しでも好きになってもらえたら何より嬉しいです。

想定する読者層

本著は、こんな人に向けて書かれています。

- AWS が何なのかよく分かっていない人
- ブログやポートフォリオサイトを独自ドメインで作ってみたい人
- JavaScript や HTML や CSS なら書けるけどサーバは分からなくて苦手という人
- プログラミングの勉強がしたいけど環境構築でつまづいて嫌になってしまった人
- これからシステムやプログラミングを学ぼうと思っている新人
- ウェブ系で開発や運用をしているアプリケーションエンジニアの人
- インフラやサーバになんとなく苦手意識のある人
- AWS、EC2、RDS、ELB、Auto Scaling、Route53 などの単語に興味がある人
- クラウドってなんだろう？ サーバってなんだろう？ という人

本著の特徴

本著では前作「DNS をはじめよう」で買ったドメインを使って、実際に WordPress で自分のサイトを作ってみます。手を動かして AWS でサーバを立てたりネットワークの設定をしたりしながら学べるので理解がしやすく、インフラ初心者でも安心して読み進められる内容です。

また実際にありがちなトラブルをとり上げて、

- 上手くいかないときは原因をどう調べたらいいのか？
- 見つかった問題をどう解決したらいいのか？
- 今後、同様の問題はもししたら事前に避けられるのか？

をコラムやドリルで解説しています。

本著のゴール

本著を読み終わると、あなたはこのような状態になっています。

- WordPress のおしゃれなサイトができあがっている
- 使うも壊すも自由な勉強用の Linux サーバ環境が 1 台手に入る
- クラウドがなんなのか？ や、そのメリットデメリットが説明できるようになっている
- 読む前より AWS やサーバや黒い画面が怖くなくなっている

免責事項

本著に記載されている内容は筆者の所属する組織の公式見解ではありません。

また本著はできるだけ正確を期すように努めました。が、筆者が内容を保証するものではありません。よって本著の記載内容に基づいて読者が行った行為、及び読者が被った損害について筆者は何

ら責任を負うものではありません。

不正確あるいは誤認と思われる箇所がありましたら、必要に応じて適宜改訂を行いますので GitHub のイシューやプルリクエストで筆者までお知らせいただけますと幸いです。

<https://github.com/mochikoAsTech/startAWS>

目次

はじめに	i
想定する読者層	ii
本著の特徴	ii
本著のゴール	ii
免責事項	ii
 第 1 章 猫大好き suki	 1
 あとがき	 2
Special Thanks:	2
レビューアー	3
参考ウェブサイト	3
 著者紹介	 4

第 1 章

猫大好き suki

あとがき

終わったー！ 長かったー！ 前作の「DNSをはじめよう」が150ページだったので「AWSをはじめよう」はその倍の道のりでした。自分で立てたべ切を1ヶ月以上ぶっちぎったことでデザイナーさんの作業時間を削ってしまい、楽しいけれど胃の痛む執筆期間でした。皆さん、楽しくお読みいただけましたでしょうか？

「インフラは怖い」「よく分からないから下手に触って壊したらと思うと怖い」という言葉はベテランのアプリケーションエンジニアの口からも聞かれます。仕組みがよく分からないまま触るのは怖いですが、実際やってみると画面でぼちぼちと進めていだけでサーバは立つし、ポート番号とアクセス元のIPアドレスを書いてやればファイアウォールに穴は開けられるし「今までインフラエンジニアに頼んでたのってこういう仕事だったんだ！」と思いませんでしたか？

誰だってよく分からないものは「怖い」のです。折角ほぼ無料であれこれ試せる時代なので、怖さを克服するためにとにかくどんどん触ってみましょう。壊したってAMIから戻せると思えば気が楽です。

ちなみにただWordPressでサイトが作りたいだけならAmazon Lightsail（ライトセイル）というApacheもMySQLもWordPressも入ったオールインワンなVPSがあるのですが、本著では「仕事で使うような環境構築」をひととおり体験してみることを優先して、敢えてIAM、EC2、RDS、AMI、EBS、S3、ELB、AutoScalingなどを組み合わせて使用しています。AWSには膨大な数のサービスがありますので、本著をきっかけに「AWSもサーバも怖くないかも」と思えたらぜひ他のサービスも試してみてください。

何かを「はじめよう」と思ったら遅すぎるということはありません。本著が「インフラもうちょっと詳しくなりたいな」という人や「エンジニアになりたいけど何からはじめたらいいのか分からない」という人のお役に立てたら嬉しく思います。

数ある技術本の中から「AWSをはじめよう」を手にとってくださったあなたに感謝します。

2018年10月
mochikoAsTech

Special Thanks:

- ・ 茹でたブロッコリーが好きな茶色い折れ耳の猫に捧ぐ

レビューアー

- Takeshi Matsuba
- 深澤俊

参考ウェブサイト

- Developers.IO <https://dev.classmethod.jp/>

著者紹介

mochiko / @mochikoAsTech

Web 制作会社のシステムエンジニア。モバイルサイトのエンジニア、SIer とソーシャルゲームの広報を経て、2013 年よりサーバホスティングサービスの構築と運用を担当。現在は再び Web アプリケーションエンジニアとしてシステム開発に従事。「分からない気持ち」に寄り添える技術者になれるように日々奮闘中。

- <https://twitter.com/mochikoAsTech>
- <https://mochikoastech.booth.pm/>

Hikaru Wakamatsu

表紙デザインを担当。「DNS をはじめよう」の名付け親。

Shinya Nagashio

挿絵デザインを担当。

伝わる文章をはじめよう 基礎からトラブルシューティングまで

2019 年 4 月 14 日 技術書典 6 版 v1.0.0

著 者 mochikoAsTech

デザイン Hikaru Wakamatsu / Shinya Nagashio

発行所 mochikoAsTech

印刷所 日光企画

(C) 2018 mochikoAsTech